

教職経験のない学卒院生と現職院生による、協働でデザインした授業が

学習者に与える効果に関する事例的研究

○吉井 彰宏(上越教育大学教職大学院)
丸山 悟 (上越教育大学教職大学院)
松葉 大吾(上越教育大学教職大学院)
水落 芳明(上越教育大学教職大学院)
(j245664j@myjuen.jp)

要約

本研究では教職経験のない大学院生(以下、学卒院生とする)と教職経験のある大学院生(以下、現職院生とする)が協働して授業をデザインすることで、学卒院生の発話に変容が見られた。その結果、学習者の学習の様子や授業後に記述した感想シートの記述に変容がみられた。

キーワード：授業力向上、授業者の変容、学習者の変容

I 問題の所在

中央教育審議会(2006)¹⁾は近年、教員の大量退職が見込まれ、その欠員を補充するために、新任教員の大量採用が始まることが見込まれることを示唆し、教員の質を教員養成段階から確保することが必要であると述べている。

しかし、中央教育審議会(2006)²⁾は現在の教員養成の課題として、大学で教員免許を取得する過程でほとんどが講義中心の授業で単位を取得するため、実践的指導力の育成が十分でないことを述べている。

また、財団法人教育調査研究所(2008)³⁾の若手教員を対象にした調査によると若手教員は授業がうまくいかないということに悩んでいる傾向がある。さらに、石原(2011)⁴⁾の新任教員を対象にした業務上の困難さに関するアンケートによると、児童理解の困難さから、「教科、道徳、総合的な学習の時間の指導」に対する不安が最も多かったと報告されている。これら2点の先行研究から新任教員は授業に対する不安を抱えていることが明らかになっている。したがって、教員養成段階から必要な資質能力を身につけておかなければならないということが考えられる。

相澤ら(2012)⁵⁾は実践的指導力の育成、新任教員の養成を目的としている教職大学院の実習に着目

し、学卒院生の授業力向上の在り方について探った。その結果、学卒院生と現職院生が協働することにより、学卒院生の授業力が向上することを明らかにした。

また、大泉(2012)⁶⁾は新任教員の授業中(図画工作・美術科の実践)の発話に注目し分析した。その結果、最初の授業では学習課題に即し、学習内容を捉えさせる発話が多かったものの、実践を積み重ねていくうちに作品に対する感情の発話が増えていったことを明らかにした。

しかし、上記の研究は学卒院生の授業力が向上したことを明らかにしたものであり、その結果、学習者にどのような効果があったかは詳細に分析されていない。

そこで本研究では現職院生と学卒院生が協働して授業をデザインすることで、学卒院生の発話に変容し、学習者にどのような効果をもたらすのかを、事例的に検証することを目的とする。

II 研究方法

1 調査対象

N県S小学校、第5、6学年(21名)

教職経験のない学卒院生(1名)

教職経験のある現職院生(2名、それぞれ11年、14年の経験)

2 調査単元

歴史分野 8, 世界に歩み出した日本 東京書籍(全6時間)

調査時期

平成 24 年 11 月(N 県 S 小学校)

3 記録・分析方法

①ビデオカメラの記録(前後撮り計 2 台)をもとに授業者(以下, 学卒院生とする)・学習者の様子の分析
相澤ら(2012)⁹⁾の手法をもとに現職院生と学卒院生が協働して授業をデザインした。その授業をビデオカメラで記録し, 学卒院生と学習者の様子を分析する。学卒院生の様子が変容した結果, 学習者の様子にどのような変容があったかを分析する。

②学卒院生の発話を分析

後ろのビデオカメラと同期させたワイヤレスマイクを学卒院生に装着し, 学卒院生の発話内容を分析する。

③授業前指導案検討・授業後リフレクションの現職院生の発話についての分析

授業前後の現職院生とのリフレクションを IC レコーダーで記録し, その発話の変容について調査し, 分析する。

④学習者が授業後記述した自由記述の感想シートの分析

現職院生の発話により, 学卒院生の発話の変容が見られた結果, 学習者の感想シートにどのような変容が見られたかを分析する。

III 結果

学卒院生は 6 時間の授業のなかで, 学習者を見る時間が増え, 発問の円滑なやりとりができるようになった。その結果, 学習者は学卒院生を見る時間が長くなった。

そしてそれとともない学卒院生の授業中の発話にも変容が見られた。その結果, 学習者の学習課題に対する意識が高まり, 学習者が授業後に記述した感想シートには学習内容に関する内容, その授業時間内においての目標に関する内容の記述が増えた。したがって, 学卒院生の発話の変容が学習者の感想シートの記述に変容をもたらしたことが明らかに

なった。

なお, 詳細は学会当日発表する。

参考引用文献

- 1) 文部科学省「中央教育審議会, 今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申), 3 「教員養成・免許制度の改革の重要性」, 2006
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/06071910/004.htm (2012 年 11 月 27 日閲覧)
- 2) 前掲書: 1), 4 「教員養成・免許制度の現状と課題」, 2006
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/06071910/005.htm (2012 年 11 月 27 日閲覧)
- 3) 財団法人教育調査研究所: 「若手教師の悩みに答える」, 財団法人教育調査研究所研究紀要第 88 号, 2008
- 4) 石原陽子: 「教師の「実践的指導力」育成に関する考察 - 新任教師の属性に着目して - 」, プール学院大学研究紀要, 第 51 号, pp.203-216, 2011
- 5) 相澤文哉, 田中博徳, 吉井理人, 水落芳明: 「教職経験のない学卒院生と現職院生との協働による授業実践に関する効果の検証」, 臨床教科教育学会, pp.1-7, 2012
- 6) 大泉義一: 「図画工作・美術科における教師の発話に関する実践研究・II - 教職キャリアと「第 3 教育言語」の関係から - 」, 美術科教育学会, pp.135-147, 2012
- 7) 前掲書: 4), pp.1-7
- 8) 前掲書: 4), pp.1-7
- 9) 前掲書: 4), pp.1-7

教職経験のない学卒院生と現職院生の
協働でデザインした授業が学習者に
与える効果に関する事例的研究

○吉井 彰宏(上越教育大学教職大学院)
丸山 悟(上越教育大学教職大学院)
松葉 大吾(上越教育大学教職大学院)
水落 芳明(上越教育大学教職大学院)

問題の所在

中央教育審議会(2006)

○近年、教員の大量退職が見込まれることを示唆
⇒ 教員養成段階での指導力の育成が必要

○大学での教員免許の修得課程

⇒ 実践的指導力の育成
が十分ではないことを示唆

問題の所在

財団法人教育調査研究所(2008)、石原(2011)

○新任・若手教員を対象にした調査、アンケート

⇒ 経験の少なから、
授業に対する不安を抱えている

問題の所在

相澤ら(2012)

○実践的指導力の育成、新人教員の養成を目的としている教職大学院の実習に着目

⇒ 現職院生と学卒院生が
協働することにより授業力が向上

大泉(2012)

○新任教員の授業中の発話に注目し分析

⇒ 学習内容以外の発話が増加し
その発話を学習内容につなげる
ことができるようになった

これらの研究成果

学卒院生、新任教員、若手教員の授業の向上、
発話の姿容を明らかにしたもの

その結果、学習者にどのような効果が
あったかというところまでは分析されていない

研究の目的

学卒院生の授業力向上



学習者の変容

調査

調査時期

2012年11月

調査対象

新潟県公立5小学校5・6年生(18名 複式学級)

学卒院生(1名)

現職院生(2名 それぞれ11・14年)

学習單元

社会科 世界に歩み出した日本(東京書籍)

記録方法

ビデオカメラ2台、ワイヤレスマイク1台、ICR1台

研究の方法

学卒院生の授業力向上

分析①

現職院生とのリフレクション

分析②

現職院生との指導案検討

分析③

学卒院生の変容

①現職院生とのリフレクション

現職院生との授業後リフレクションの発話分析

・現職院生との授業後リフレクションの発話から
学卒院生の課題を明らかにする

①現職院生とのリフレクション

現職院生との授業後リフレクションの発話内容の一例
＜プロトコル＞

現職院生A
きちんと子どもを見て 指示をするとか、子どもの反応を見て「あー、理解したから次に進もうとか、そのやりとりがこれから課題になるのかなーというふうな」

現職院生B
子どもにかけてからの反応がスルーすることが多い、っていうのが「かけて「ありがとうね」とか(中路)そういった投げ返しがないかーい」かーいってな、なんだよ

学習者を見ていないとの指摘

①現職院生とのリフレクション

現職院生との授業後リフレクションの発話内容の一例
＜プロトコル＞

現職院生A
何読みかっつても伝えてない、かなかつたのね。ただ「あ、はい、とりあえず読んでいったのね、たしか、最後...とりあえず読んでってどういう読み方なのかわからない」(申略)指示が足りなかったな...っていうのと、そのとき、なんだったかな、一応、最終的に「読み終わった人はノートを書いてください」というあの指示が出たからまだよかったけどできればそれを最初と言えよよかったよ

指示が抽象的であることを指摘している

指示が後付けであることを指摘している

①現職院生とのリフレクション

学卒院生の課題

・学習者を見ていないということ

・学習活動の指示が曖昧であること

③学卒院生の教育

学習者を見ることについてのアドバイス

現職院生A
しっかりと確認しながら、やっていかないと...
「わかった」、「大丈夫」とかさ。

現職院生A
最初の説明の段階で、いれとかないといけないよね。また、黒板に書くとか、きちんと後出しじゃなくて、グループに直接言うのじゃなくて、最初の説明できちんと、まず今日は... (省略)

指示を出すタイミングに関するアドバイス

③学卒院生の教育

①の分析から、学卒院生にどのような効果があったかを分析する

・学卒院生が授業時間内(導入部)に学習者を見ている時間を計測する

・学卒院生の指示に関する発話について分析する

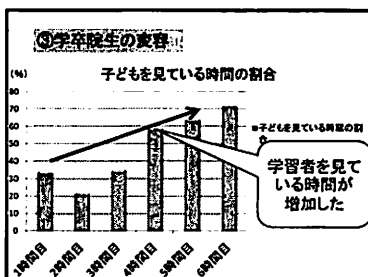
③学卒院生の教育

○学卒院生の「学習者を見る」課題についての分析方法

導入部分を抽出

導入部分の時間の平均値を算出

➡ 学習者を見ている時間の割合をみる



③学卒院生の教育

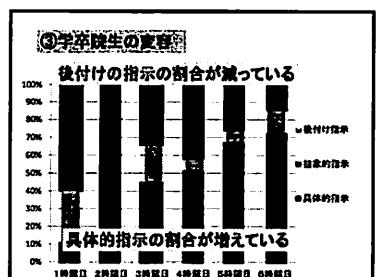
「対象範囲」

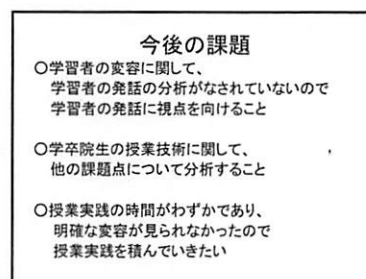
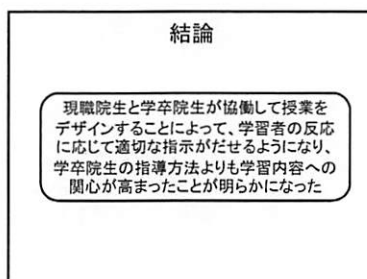
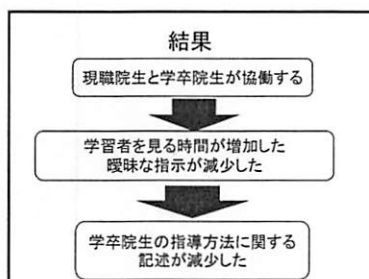
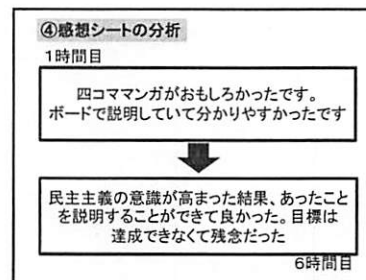
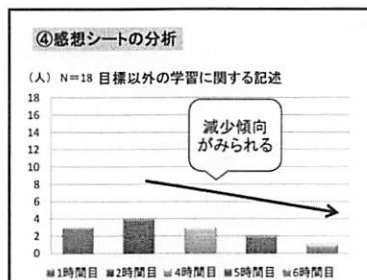
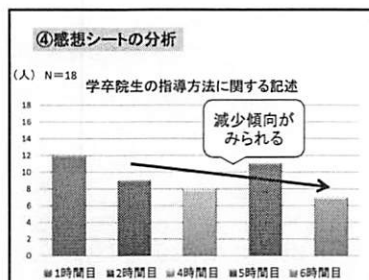
- ・展開の説明と展開部分のプロトコルを使用

「分類方法」

- ・具体的指示...「何を」、「どうする」が含まれる指示
- ・抽象的指示...「何を」、「どうする」の一方、または両方が含まれない指示
- ・後付け指示...展開の説明時に含まれなかった指示

*意味内容で1回としてカウントし、3種類の指示の合計から割合を算出





参考引用文献

- ・文部科学省:「中央教育審議会、今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申)」、3「教員養成・免許制度の改革の重要性」、2006
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/06071910/004.htm (2012年11月27日閲覧)
- ・前掲書:4「教員養成・免許制度の現状と課題」、2006
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/06071910/005.htm (2012年11月27日閲覧)
- ・財団法人教育調査研究所:「若手教師の悩みに答える」、財団法人教育調査研究所研究紀要第88号、2008
- ・石原陽子:「教師の「実践的指導力」育成に関する考察-新任教師の属性に着目して-」、フール学院大学研究紀要、第51号、pp.203-216、2011

参考引用文献

- ・相澤文哉、田中博徳、吉井理人、水落芳明:「教職経験のない学卒院生と現職院生との協働による授業実践に関する効果の検証」、臨床教科教育学会、pp.1-7、2012
- ・大泉義一:「図面工作・美術科における教師の発言に関する実践研究・Ⅱ-教職キャリアと「第3教育言語」の関係から」、美術科教育学会、pp.135-147、2012

教職経験のない学卒院生と現職院生が協働でデザインした授業が学習者に与える効果に関する事例的研究

- 吉井 彰宏(上越教育大学教職大学院)
- 丸山 悟(上越教育大学教職大学院)
- 松葉 大吾(上越教育大学教職大学院)
- 水落 芳明(上越教育大学教職大学院)